



2012/12/24 平成24年度 天皇杯・皇后杯 全日本バレーボール選手権大会(男子)  
**Match Result**



試合番号 **211** **A 試合会場レポート**

■会場 都城市早水公園体育文化センター(宮崎県都城市) 試合開始: 15:00 試合時間 2:12  
 観客数 1,908 主審: 中馬 義郎 副審: 小野 将人



東レアローズ

■監督: 小林 敦  
 ■コーチ: 山本 大二

■第1セット出場メンバー

5 米山	12 ボヨビッチ	17 篠田
1 富松	4 近藤	16 角田
18 (鈴木)		6 (渡辺)

( )内は交代選手  
 ■リベロ: 2 田辺 修

得点	セット時間	得点
21	1set(26')	25
20	2set(27')	25
25	3set(24')	19
25	4set(30')	23
8	5set(13')	15
99	<b>Total</b>	107
2	セット数	3



パナソニック パンサーズ

■監督: 南部 正司  
 ■コーチ: 真保 綱一郎

■第1セット出場メンバー

15 福澤	1 清水	13 柰田
6 白澤	2 宇佐美	8 川村
5 (山本)		11 (タウアレス)

( )内は交代選手  
 ■リベロ: 17 永野 健

■Match Comment

男子決勝は、前大会優勝のパナソニックパンサーズと4年ぶりの優勝を狙う東レアローズとの対戦となった。第1セット序盤、東レはボヨビッチ、角田の攻撃でリードするが、中盤追いつかれ、その後は一進一退のゲームとなる。しかし、終盤パナソニックが清水のサービスエース、バックアタックでリードを奪い、最後は柰田のブロックで先制する。

第2セット、東レは米山、ボヨビッチの攻撃で点を取るものの、サーブミスが目立ち、流れを掴めない。一方パナソニックは、粘り強い守りを、清水、福澤の両サイドからの攻撃に繋ぎ、得点を重ね、セットを連取する。

第3セット、東レは途中出場の鈴木のアタックやサーブ、富松の速攻などが冴え、セットを取り返す。第4セットも東レの多彩な攻撃がパナソニックの守備を上回り、フルセットに持ち込む。

最終セットは、序盤からパナソニックが清水の攻撃による連続得点で流れを引き寄せる。東レもボヨビッチの攻撃などで粘りを見せるが、パナソニックの勢いを止めることができず、パナソニックが勝利し、2連覇を達成した。

■Coach Comment: 小林 敦(東レアローズ)

清水選手の攻撃を最後まで抑えることができなかったのが、大きな敗因となった。天皇杯・皇后杯は準優勝で終わったが、V・プレミアリーグは続くので、気持ちを切り替えていきたい。4月14日、V・プレミアリーグファイナルラウンドでリベンジを果たします。

■Coach Comment: 南部 正司(パナソニック パンサーズ)

第3セット以降、予想していた通り、相手の素晴らしいディフェンスに苦しめられたが、第5セットは選手たちがよく立て直してくれた。今回の優勝で、来年から再開するVプレミアリーグに弾みをつけていきたい。沢山のご声援、誠にありがとうございました。

■作成者: 田上 純

※ 本票の著作権は公益財団法人日本バレーボール協会に帰属します。





2012/12/23 平成24年度 天皇杯・皇后杯 全日本バレーボール選手権大会(男子)  
**Match Result**

試合番号 **210** **A 試合会場レポート**

■会場 都城市早水公園体育文化センター(宮崎県都城市) 試合開始:18:50 試合時間 1:18  
 観客数 1,993 主審:小野 将人 副審:山本 晋五



東レアローズ

■監督 :小林 敦  
 ■コーチ:山本 太二

■第1セット出場メンバー

5 米山	12 ポヨビツ	17 篠田
1 富松	4 近藤	16 角田
		6 (渡辺)

()内は交代選手  
 ■リベロ: 2 田辺 修

得点	セット時間	得点
25	1set(23')	15
25	2set(26')	21
25	3set(23')	18

75	<b>Total</b>	54
3	セット数	0



サントリーサンバーズ

■監督 :パオロ モンタニャーニ  
 ■コーチ:荻野 正二

■第1セット出場メンバー

1 山村	20 米山	18 ウォレス
	5 (柴小屋)	
9 阿部	7 越川	2 鈴木
6 (岡本)		21 (松崎)

()内は交代選手  
 ■リベロ: 13 高橋 賢

■Match Comment

男子準決勝第2試合は、前大会ベスト4の東レアローズと2年ぶりの優勝を狙うサントリーサンバーズの対戦となった。

第1セット序盤、東レはポヨビッチ、米山のサイドからのアタック、富松の速攻やブロックで得点を重ね、リードする。一方、サントリーはセッターを阿部から岡本に替え、ウォレス、山村のアタックで反撃し、巻き返しを図るが、東レがリードを守り先取した。

第2セット、終始東レのリードで進み、中盤サントリーはセッターを阿部に戻し、センター鈴木のアタックとブロック、阿部のブロックで応戦した。しかし、東レ富松、米山のアタック、富松、ポヨビッチのブロックが冴えわたり、東レが連取した。

ウォレス、ポヨビッチの両外国人選手の打ち合いでスタートした第3セット。一進一退の接戦の中、両チームともに、攻撃の主体を外国人選手から、センター陣に移したが、接戦は続いた。試合を決定づけたのは、東レの富松、米山、近藤の3連続ブロックポイントであった。

その結果、東レはストレートでサントリーを下し、良い流れで明日4年ぶりの優勝を狙う。

■Coach Comment: 小林 敦(東レアローズ)

今日のゲームは攻守のバランスのとれた良い戦いだった。チームに勢いがついているので、明日のゲームでは更にその勢いを増して、戦いに臨みたい。応援よろしくお願いします。

■Coach Comment: パオロ モンタニャーニ(サントリーサンバーズ)

この試合に勝利した東レアローズにおめでとうと言いたい。自分たちのポテンシャルを大きく下回るゲームに終始した。これは特にアタック面について言える。アタックのアイデア、技術の両面でミスが多かった。サーブに関しても、ここ最近では最も悪かった。応援してくださった皆さん、ありがとうございました。

■作成者:伊藤 寿朗

※ 本票の著作権は公益財団法人日本バレーボール協会に帰属します。





2012/12/23 平成24年度 天皇杯・皇后杯 全日本バレーボール選手権大会(男子)  
**Match Result**



試合番号 **209** **A 試合会場レポート**

■会場 都城市早水公園体育文化センター(宮崎県都城市) 試合開始:16:25 試合時間 1:46  
 観客数 2,512 主審:塚本 健 副審:中馬 義郎



堺ブレイザーズ

■監督:酒井 新悟  
 ■コーチ:長江 祥司

■第1セット出場メンバー

6 ヘピチ	1 松本	11 伊藤
	5 (内藤)	
3 石島	12 横田	19 今村

()内は交代選手  
 ■リベロ:2 井上 裕介

得点	セット時間	得点
25	1set(25')	20
23	2set(28')	25
15	3set(23')	25
13	4set(21')	25

76	<b>Total</b>	95
1	セット数	3



パナソニック パンサーズ

■監督:南部 正司  
 ■コーチ:真保 綱一郎

■第1セット出場メンバー

15 福澤	1 清水	13 忝田
	16 (大竹)	
6 白澤	2 宇佐美	18 谷村
	5 (山本)	8 (川村)

()内は交代選手  
 ■リベロ:17 永野 健

■Match Comment

前大会優勝のパナソニックパンサーズと前大会ベスト4の堺ブレイザーズ。くしくも前大会準決勝と同じ戦いとなった。第1セット、堺は序盤から石島のレフトアタック、ヘピチのバックアタックでリードを広げた。一方、パナソニックは清水、福澤らのアタックで追いつけるも、堺がヘピチのアタックで締めくり、セットを先取した。

第2セット、終盤まで両チームとも譲らず互角の戦い。最後は堺ヘピチのバックアタックがアウトになり、パナソニックがセットを取り返す。

第3セット、勢いに乗ったパナソニックが大きくリードを広げ、清水のサービスエースや多彩な攻撃で圧倒し、連取した。

第4セット、パナソニックの流れは変わらず、素早いブロックで堺の攻撃を阻み、キャプテン川村、福澤らのアタックで得点を重ねた。逆に堺は、集中力が切れたのか、サーブミスやアタックミスが多くなり、フルセットに持ち込むことができず、パナソニックが2連覇に王手をかけた。

■Coach Comment:酒井 新悟(堺ブレイザーズ)

今日の試合、第1セット序盤から攻撃のリズムがよく、先取することができたが、第2セット後半の接戦をものにする事ができず、相手に主導権を握られてしまった。この試合の反省点を次に繋げるべく、今後取り組んでいかなければならない。

■Coach Comment:南部 正司(パナソニック パンサーズ)

相手の強力なブロックで、第1セットを落とす結果となってしまったが、第2セット以降、選手たちがよく立て直してくれた。明日の決勝戦は、全員の力を結集して、全力を尽くす。沢山のご声援、誠にありがとうございました。

■作成者:松本 陽慈朗

※ 本票の著作権は公益財団法人日本バレーボール協会に帰属します。